



ETERNUS JX40

はじめにお読みください

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本紙をご覧になり、装置を使用する準備を行ってください。

本紙に記載されていない項目や詳細な手順については、添付のドキュメントディスクを参照してください。

1 梱包物が揃っていることを確認してください

添付品一式の内容をよく確認し、✓を付けてください。

- ・ 添付品はシステムの変更時や、ソフトウェアの再インストール時に必要となるため、大切に保管してください。
- ・ 下記の添付品の他に、注意書きの紙が入っている場合があります。

添付品

- ☐ 本体
- ☐ フランジカバー
- ☐ 電源ケーブル(2本)
- ☐ 保証書
- ☐ ラックマウントキット
 - ☐ ブラケットL
 - ☐ ブラケットR
 - ☐ M5 ネジ(8本)
 - ☐ スクリューホルダー (8個)
- ☐ 『はじめにお読みください』(本紙)
- ☐ ドキュメントディスク『ETERNUS JX40 Document & Tool CD』

2 『安全上のご注意』を確認する

添付の『安全上の注意およびその他の重要情報』には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に取り扱ってください。また、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

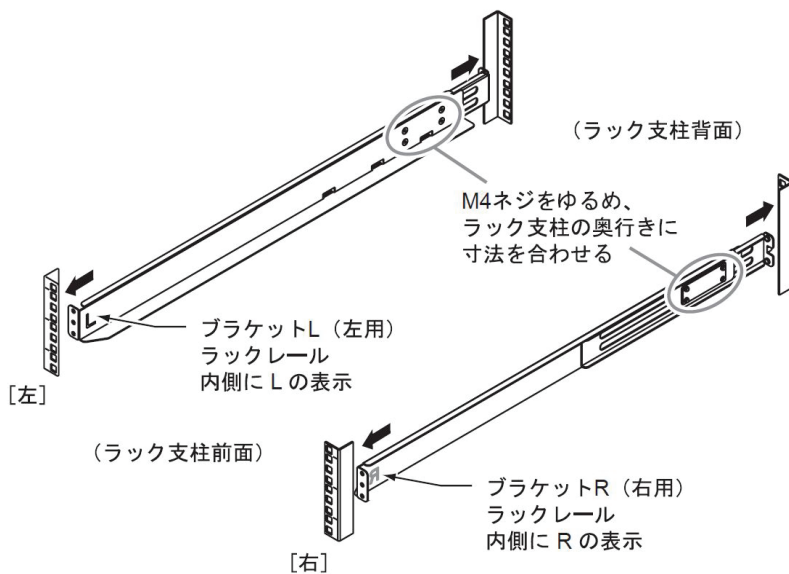
3 本製品を設置する

必要な設置スペース、設置場所の条件を確認して、設置してください。

☐ ラックへの搭載

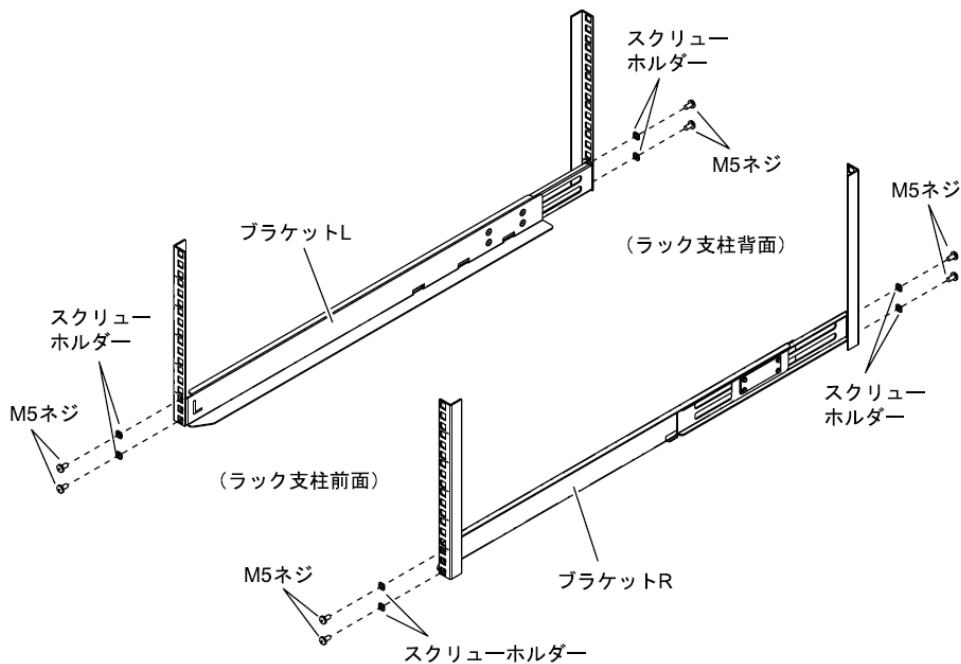
ラックは必ず固定し、転倒防止用スタビライザを取り付けてください。ラックの設置に関する詳細は、ラックに添付のマニュアルを参照してください。

1. ラックのフロントドアとリアドアを開けます。
2. 搭載するラックに合わせて、ラックレール(ブラケットL(左用)とブラケットR(右用))の寸法を調整します。
M4 ネジをゆるめて、搭載するラックの支柱の奥行き寸法に合わせます。なお、M4 ネジはラックレール(ブラケット)をラックに取り付けてから締め付けるため、ここでは仮止めの状態(ゆるめた状態)にしておきます。

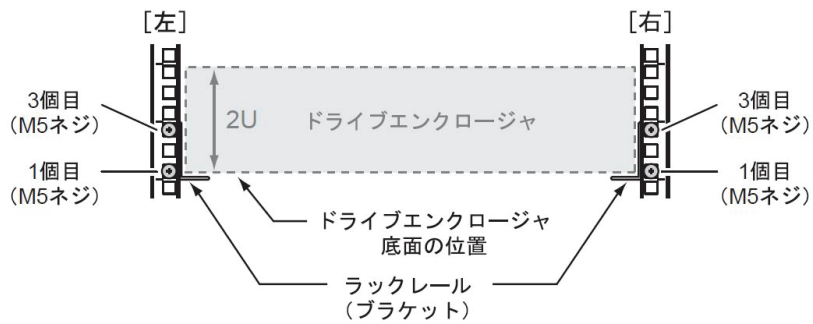


3. ラックレール(ブラケット)をラックに取り付けます。

- ・ ラック支柱が角穴(約 9mm)の場合は、スクリーホルダーを使用してください。
- ・ ラックレール(ブラケット)は、できるだけ外側に広げるようにして取り付けてください。

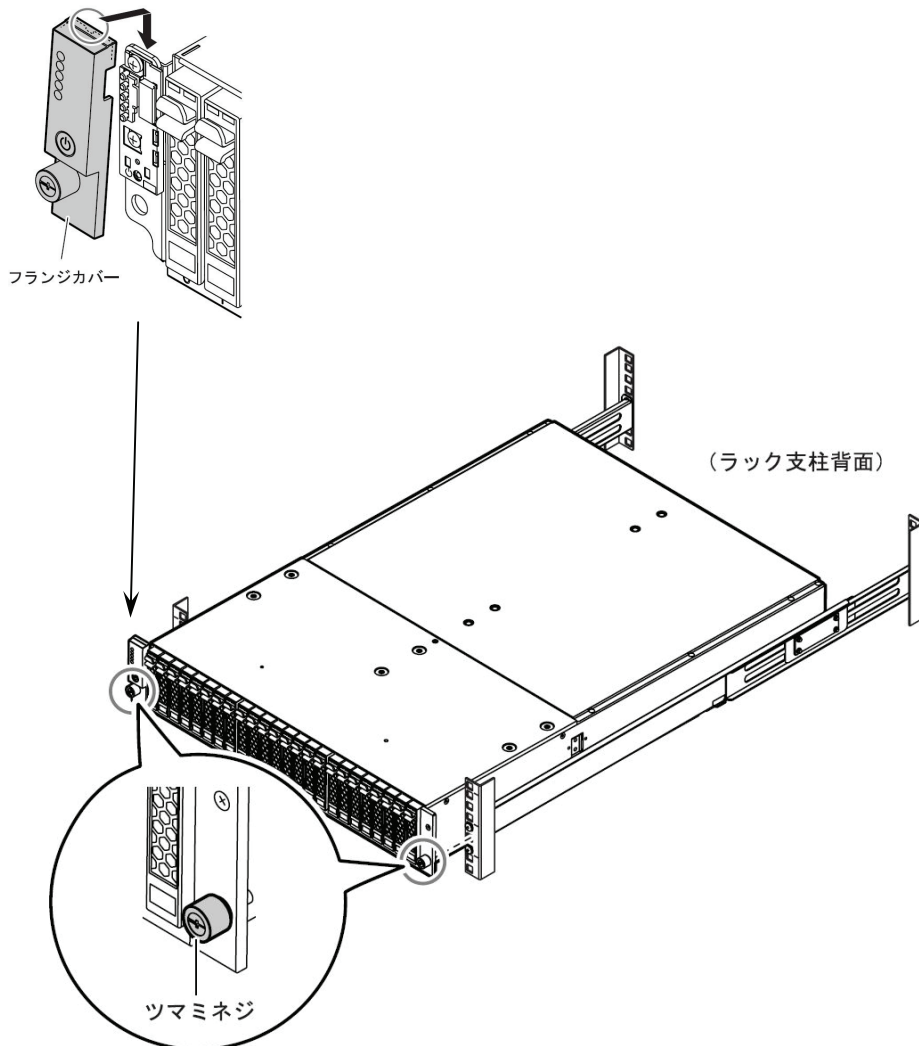


ラックレール(ブラケット)を取り付けるM5ネジ(4個)は、本装置を取り付けたときの底面の位置から決まります。前面、後面ともに1個目と3個目に固定します。



4. 手順 2 で仮止めたラックレール(ブラケット)の M4 ネジをしっかりと締め付けます。
5. 本装置をラックに搭載します。
 - ・ 本装置前面の右側は、ツマミネジでラック支柱に固定します。
 - ・ 本装置前面の左側は、添付のフランジカバーを取り付けてから、ツマミネジでラック支柱に固定します。

フランジカバーの取り付け



4 各種ケーブルの接続

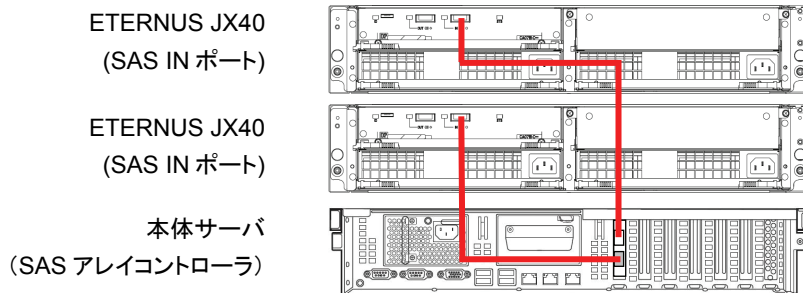
本製品を移動させるには、SAS ケーブルと電源ケーブルを接続する必要があります。

【重要】

接続するサーバの電源が入っている場合は、サーバの電源を切ってからケーブルを接続してください。

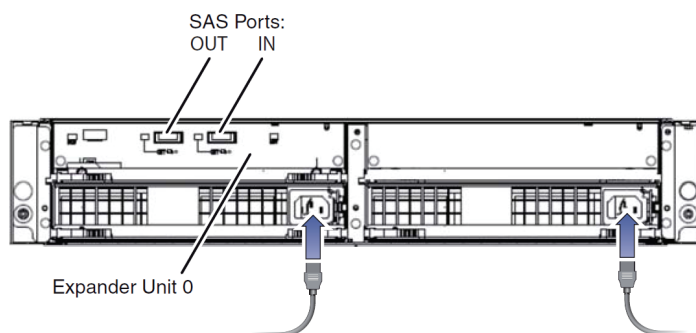
□ SAS ケーブルで接続

本体サーバの SAS アレイコントローラカードと本装置の「SAS IN ポート」を SAS ケーブルで接続します。



□ 電源ケーブルの接続

電源プラグを、電源ユニットのインレットに接続します。



5 初期設定

本製品は、接続するサーバの電源投入に連動して電源が入ります。

接続するサーバを起動した際に、SAS アレイコントローラカードのコンフィグレーション画面より本装置に搭載しているディスクドライブの RAID 設定を行ってください。

詳細は、サーバ本体添付の『PRIMERGY ServerView Suite DVD』内のアレイコントローラカード ユーザーズガイドを参照してください。